

2020年5月1日

学生の皆さんへ

緊急事態宣言下における尚絅学院大学の授業の実施に関する基本的な考え方について

新型コロナウイルス感染症が広がる中、全国に緊急事態宣言が発せられ、さらにその期限が延長される見通しとなっております。尚絅学院大学においては、その中でも、学生の皆さんの安全を第一に考えつつも、教育を滞らせてはならないとの決意の下、鋭意検討を重ね、学生の皆さんには誠に残念ながら当面登校の自粛をお願いしつつ、4月22日から非対面型授業を開始することとしました。

文部科学省の定める大学設置基準上、授業は、面接授業と遠隔授業に大きく分けられますが、本学が目指しているものは、授業のすべてを遠隔授業、いわゆるオンライン授業で実施しようということではありません。通常の面接授業における対面型の授業方法が当分の間実施できない状況の中で、それぞれの授業の性格に応じ、またさまざまな学生の履修条件に可能な限り対応できるように、同時双方向のオンライン授業だけでなく、オンデマンドで随時視聴できる形態や教務支援システム、印刷教材の併用など、学生が登校しなくても受講できる各種の非対面型の授業方法を効果的に組み合わせ、いわばハイブリッド型の教育プログラムを目指しています。

これにより、様々な制約の中でも、大学の授業として従来と変わらない水準を確保した教育を行っていきたいと考えています。さらに、今までは実現できなかった新しいタイプの授業も、すでに一部の授業で始まっています。また、このような柔軟なシステムをとることで、今後学生の皆さんが登校して面接型授業が行える状況になったときにも、円滑にそれへの移行が可能となると考えています。与えられた環境の中で最も効果的な授業をめざし、全教職員一丸となって、様々なアイデアを交換しながら知恵を絞って授業に取り組んでいます。当面はいろいろと乗り越えなければならない課題も出てくると思いますが、一つ一つ解決していきたいと考えております。

他方で、そのためには、本学の体制整備とともに、受講する学生の皆さんの側での環境整備も重要な課題です。もちろん本学としては、可能な限りそれぞれの学生の皆さんの状況に応じた工夫を講じてまいりますが、さらに環境整備に取り組みたいという学生の皆さんに対しては、大学として支援方策を講じてまいりたいと考えております。第1回目の授業が終了し、現在、全在籍学生の履修状況に関する調査結果を集約中です。またアドバイザー、クラス担任などを通して皆さ

んの状況把握に努めており、それらの結果がまとまり次第、それぞれの状況に応じた多様な選択肢を含む、総合的な支援策を進めていくこととしております。

学生の皆さんには、慣れない学習環境の中で、学生同士の交流も限られ、不安な日々をお過ごしのことと思います。しかし、本学は、以上のような取り組みを全力を挙げて着実に進めてまいりますので、学生の皆さんにもぜひ頑張ってくださいと思います。どんな場合でも、まずは学生の皆さんの学びたいという意欲が出発点であることには変わりありません。授業はもちろんそれ以外でも、わからないこと、うまくいかないこと、困っていることがあったら、遠慮なく相談してください。できる限りていねいにサポートしていきたいと思っております。

みんなで力を合わせて、感染症に負けない取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

尚綱学院大学学長

合田 隆史